恋人の手は性感帯でした



R18
ADULT ONLY

この物語は…
手が性感帯の伊鈴(いすず)が
初めての恋人・司と
初めて…をする話である。





お互いに
触れ合いたい
・・・けど…！

←本編に続く

表紙へ戻る→

一か月前



すがうら つかさ
須賀浦 司(27)



てしま いすず
手嶋 伊鈴(20)







俺の行きつけの
カフェでバイトを
してたのが
伊鈴だった

付き合い始めて

気づいたことが
ふたつある


その1
いつも
手袋してる事
そして
ちょん
ペちッ
！
その2
手を握らせて
もらえない事
これで
何度目だ…
はぁ…
ドキ
ドキ
ドキ


ごっごめん…
こっちこそ
びっくり
させちゃったよね！
ははは…
自覚は
あるみたい
だけど…
ウチに来るのは
結構良いみたいで
どっか行く？
人混み苦手だし
こっちのが
落ち着く…
手を触らない
ようにして
なんとか
キスも済ませた
これは
OKなのか…
こっちからは
触らせて
くれないけど
懐いてくる
野良猫みたいだ
もたれかかって
くるくせに
手だけは
おさわり禁止…
ごろ
ごろ
多分
イヤでは
ないんだよな？
俺の事…
と思いたいが


うーん！
さすがに
そろそろ
聞かなきゃな…
じ
い
い
い
い
い
視線が強い…
うう…
そろり…


ごくっ
あっ、
お菓子もって
きたんだった
ばッ
びくっ
とってくるね！


確実に
怪しまれて
るよね…
さすがに
そろそろ
言わなきゃ…
ぐ…


ん…
はぁ…
ちゅくっ
ちゅくっ
はぁっ
はぁっ
つぷ…
びくっ
うっ♥
びくっ
ふーっ
キュ…
司…
びくっ
しゅぷっ
しゅぷっ
しゅぷっ


司は
いつも優しい
キスをしてくれて
柔らかさを
感じているうちに
頭がぼんやりして
その時間は終わる
もっと
他の色々な場所に
触れられたら…
その先は——
あっ♥
ビクン
ビクッ
ぎゅ
ひゃ♥


はぁ…
またやっちゃった…


後日・
司の家






…も…
申し訳ない…
なんで？




き、キス…
上手く
できなくて…
しゅん…


むしろずっと
そのままで
いてくれて
良いよ？
にへ
にへ
パァァァ
んなっ
レッ


おちょくら
ないでよっ
シャッ
まあまあ‥
ずる
なんかの
ビニール
わ
！
あっ
よろッ


おっと…
ビク
ビクッ
うわ!?
するる…♥
ちょ…っ
司!?
やってしまった…
好奇心に負けて取ってしまった手袋
ほか
ほか
待っ…
あわ
あわ
待っ…て…
ふる
この反応は…
ぴくん
あっ
こす…
ごめん、
我慢できなくて…
ドキ
ドキ
まずい…
伊鈴ってさ
すう…♥
う…っ


手が
感じやすいの？
……
…うん…
コク…
ムッ
笑わないでよ…？


いつも手袋してたのって
そのため？
すっ
ぴと
ん…
ドキ

それって今まで誰かに言ったこと…ある？
つう
ぴとぴとッ♥
ぞくぅ…
いま…はじめて…言った…ッ


つまり…世界で二人だけのヒミツってコト!?
ぱぁ
あぁ
ぴと
その言い方恥ずかしいからやめて…


手が感じるって
具体的には？
そうだな…
くすぐったい
感じ…
ぞくっ
…かな


へぇ…♥
にゅるぅ
にゅるぅ
ちょっと…
舐めるの
やめて…ッ
じわっ
じわっ
犬みたいで
恥ずかし…


ぺろっ♥
わッ!?
ぺしっ


ほんとに
感じるんだね…
うん…なんか…
お腹の奥に
ビリビリくるの…
じゃあさ
そっ
ん？
ギシッ
こっち来て
にぃ…
ドキ
手で
シようか
てっ…


わ…っ
興奮してくれてる……のかな


ん…
はあ…
凄い…
何が？
僕のと全然違うから…
はぁ
はあっ
びくっ
さわ…
びくっ


伊鈴は肌が白いから
興奮してる場所赤く目立って
フーッ
分かりやすい
……ッ
よだれもこんなに垂らして
なでなでなでな


もっと欲しい…
吸うのに夢中になってる…
司の濃い匂いがする…


伊鈴
手、止まってる
ちゃんと俺のしごけよ
ごめん…んっ
んぐっ…んぅ♥
……。
自分から腰突き出して…やらしい
こんなにされたらちんこ溶ける…♥
勝手に…っ
こう…なっちゃう…のっ…おっ…♥


ぱっ
ぴくっ
えっ…!?
がーんッ
びくっ
クスッ
ごめん
ごめん♥
勃ってると
お尻のナカの
イイとこ
見つけやすい
から
…ね?
がんばろっか
ふる
ふる
…う…
むちっ
ぷくっ♥
ぷくっ♥
ぷくっ♥
ん…ッ


とろ…
ドキドキ
続けよう
にゃあ…
柔らかいね…
あぁ
入った
ヒク…
ヒク…
う…ッ
ぷ
ぷ
う…ッん…♥
ぶるるッ
少し
このままに
しておくから
呼吸
整えて
……もう
平気かも…
ぞわ
ぞわ
クス。
そんなに
早くいれて
欲しいんだ？
それじゃ
動かして
いくよ…
にゅぐっ
にゅぐっ
にちっ…♥
はぁ…
なで
なで
ん…ッ♥


今
伊鈴の中で
俺の指がどう
動いてるか
ぐる…
ぐる…
頭の中で
軌跡を
辿って…
ゆっくり
探られてる…
僕の呼吸に
あわせながら…
進んできて
くれる…
あ…っ
ふーっ
ここ好き？
トン
トン
ここが僕の…
前立腺
場所なんだ…♥
はぁ
はぁ
たぶん
じわぁ…
誕も
糸引いて…
ここまで
伸びてるの
見える？
ちゅぽ
さっきは
寸止めして
ごめんね…


くぷ♡
やっ♡…
あうッ♡
しわあぁ
はぁ♡
はぁ♡
腰逃げても
すぐ指で
追いつかれちゃう…
僕より僕の
弱いトコ
分かってる…♥
ぴくッ
もっと…
ぐ〜って
押し込まれたら
イきそ…
ぎゅう
やめ…てぇ♥
お尻のナカも
腰くねらせて
余計にイイとこ
当たっちゃうね…
にゅるっ
たぷ♡
にゅるっ
ちんこ
熱くて
溶けそ…
くいっ
そこ…ぉッ
ビクッ
くねっ
はうッ♥
右ン
ぬぽぉ…
ズル…
だって…
抜いちゃったの…？
もにっ


「やめて」って
言ったから♥
にや…
それは
そうだけど…
そうじゃない
っていうか…
その…
かぁ
…ねぇ
俺も
このまま
やめたくない…
伊鈴は
どうしたい？


その…
キュ…
んと…
司の
ちんちん…
とろ♡
とろ♡
…いれて…？
ぱっ
かっ♡
ちゃんと
言えて
えらいね


俺の根元握って…
この形と感触と温度意識して…
これが挿入(はい)るんだよ…ッ
ん…っ♡
ぐぐっ
ビクン
ぐぐぐッ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ


びくっ
ぴくっ
はぁっ…
ぺろんっ
一旦やめ…
離さないで…
はぁっ
はぁっ
ビキ
ビキ
初めての感覚…
全部
逃したくない…
続け…て…？
ビキ…ン


ん…
あせらないで…
ゆっくり…
ゆっくり…
ふぃ…
…ッ♥
いりぐち
くちゅくちゅ
して…
くちっ♥
んっ♥
う…♥
しちっ♥
ぷちゅん♥
あっ…♥
あは…ッ
先っぽ
食べられ
ちゃったね…
でも
ひとくちで
全部呑み込め
ないでしょ…？
だから…
ぴぴ…♥
はぁっ


ゆっくり
いれてくよ…
何度も
何度も
出たり
入ったり
出たり
入ったり
おなかの奥
チカラいれたり…
ゆるめたりして…
進んでいくから
俺の
さきっぽ
伊鈴の
手で辿って？
う…んッ…？
やってみる…
俺が
いれてるんじゃない…
君が
呑み込んでるんだよ？
こっ…♥
ここ…まで…ッ
はいっちゃってる…



身体の境界線が曖昧になってく…


…動くよ
スゴい声出ちゃったね…
やめる？
やぁっおっお…
やめ…ないで…

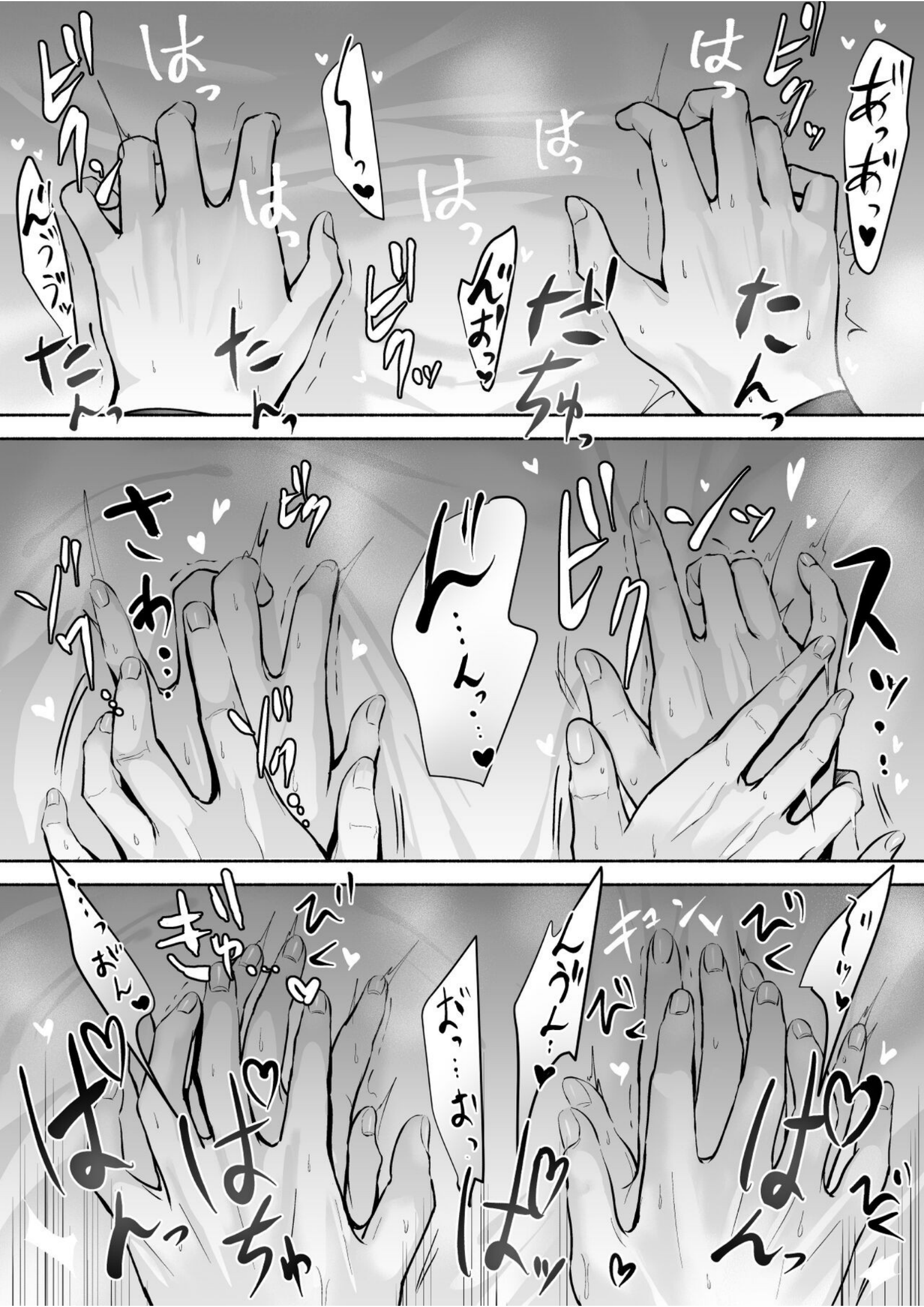

ちゅむ…
ふっ
ちゅぷっ…
はむ…
ん…♥
づ…っ♥
べっ…
れろ…


指…
司に全部
舐められて
溶けて
無くなりそう…
ビクッ
ビクッ
ねろっ
ねりゅっ
ねろっ
ねりゅ


わっ…
ぷっ
はあっ
てっ…
はあっ
うわ…
乳首ぷっくり
してて
やらしい…
むっ
むにっ
ぷくっ
ぴくっ
いちいち
言わなくて
いいから…ッ
ちょっと
いじめたく
なる…
ぴくっ
あッ
すりっ
こんなとこ…んッ
さわっても…
何もならないって
はっ
ねぇ…っ
はっ
さわ


いじんなくて
いいって…っ
あっ！
そのままの
体勢で…！
すっごい…
今ので
こんなにお尻の穴
開いちゃったん
だねぇ…
はっ
ぎゅ…
ぶるっ
ぷるん
ぶる
みっ…
見ないで…ッ
そう言われると
余計に観察したく
なっちゃうな
ぬりゅ
入るよ…
後ろから…
伊鈴は
ナカまで
かわいいな♥
むにぃ
ぐりぐり


声が…
息が…
耳元に触れてる
熱い空気で
抱かれてる
みたい…
ぬぷぷ…
んお♥
つらくない？
ん…
へいき…だけど…
（まだ乳首
いじってる…）
フーッ♥
フーッ♥
ドキ
ドキ
くにくに
ぷに
ビクッ
ゾク♥
ゾク♥
ふ…ッ
…ふぅん…？
ズッ
ズッ
ズッ
んッ♥
※ちょっと
嬉しい
ビク
司は？
…ヤバい
えっ…
伊鈴のナカ
良すぎて…


おっおっ♥
ビクッ
はっ
たんっ
はっ
ビクッ
はっ
たんっ
はっ
ビクッ
んっ♥
たんっ
んぉっ♥
たんっ
ちゅっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ


ぬっ
ぬっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
くぷっ
ぷるっ
突かれるほど
おなかに
きもちいいのが
じわじわ
溜まって…
あっ
ごめッ…
ん…ッ
出る…
ぶるっ
はっ♡はっ♡
ぬりっ
ぬりっ
ぬりっ
づぁっ♡
あっ…ん♡
ずっ
ずっ
ずっ


ビリッ
ドクッドクッ
ビクッビクッ
せえし
精子・・・
きてる♥
はっ
へっ♥
ぐるぐる
ぺろ
ちゅぽんっ
プルン
あっ
あっ
あっ
ぬ!!
ぬきゃ・・・♥
どろぉ


にちゃ…
くちゅ…
みてよ
俺の手
すっごい
どろどろ
なんだけど
伊鈴の方は…？
はーっ
はーっ
くちゅ
…ははっ
溶けちゃった
みたいだ
お、
トコロテン
してる…
ヒクン
とろぉ
自分が
こんなに
えっちな身体
だったの
知ってた…？
なんかもう…
ぜんぶ…
分からなく
なっちゃった…
ぬる…


手で輪っか作って…？
ん
そっ
こ、こう？
そう…そのわっかの中にちんこいれるから
もうおっきく戻ってる…
ドキドキ
はっ♡
ふっ
ふっ
来て…いいよ
はぁっ
…うん♡


こうやって
僕の中に
ぷちゅっ
入ってたんだ…
さっきまで
なんて
想像を
してしまう
ぬぷっ
司の…
皮膚の下
血管と硬い芯
ぬちゃ
ぐっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
僕の輪の中で
行ったり
来たりして…
括れを
通るたびに
弾けそうに
なってる…
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ


想像…
想像してた、一人で
司とセックスすること…
叶ったんだなぁ…
ぼけ〜
とろん
…すず？伊鈴？
はぁ…
なんかぼ〜っとしてる
ぐいっ
ヘッ…
考え事？
ドキッ
？


…ッ
…ッ
ごめん…
だってぇ…
グスン
えっ!?
何!?
司のことおかずにしてました…ッ
わ
べっ
あぁっ


そう…
だったの…
かあっ

絶対
引かれる…

伊鈴って
結構……
スケベだね
あぁ
あぁ
あぁ
あぁ


でも
安心した


付き合う前はさ
伊鈴のほうが
積極的に
話しかけて
くれたじゃん
※バイト中
だけど
今の関係に
なってから
逆に
距離を感じて
正直不安も
あったんだけど
一緒じゃ
ない時でも
俺の事
考えてくれて
悶々と
してたのかと
思うと…
すごい
興奮する…


あ～もう
勃ってきた…っ
ガバッ
こっち
おいで
ぬぎ
ぬぎ
ぬぎ
想像してたのと
実際の俺
違ってた？
んっとね…
優しいよ…？
すごく…！
くり
たま～に
Sっぽい
感じも
するけど
むむ
れる
れる
え？
何の事？
さっきの
ひ、引いた？
ギシ…
にやり…
ちょっと
びっくり
したけどね
ドキ
ドキ
うぅ…


にゅこっ…♥
それで…その…
思ってた以上に…おっきかった…
ぬちっ
ズリュッ
ふりっ
ふーっ
ふーっ
ドキ
ドキ
くちっ…
くちっ…
!!


そんなこと
言われたらさ…
ぬぷぅ
ビクッ
ビキ
ビクッ
お…っ♡
う…♡
はあ〜っ♡
はあ〜
ドッドッドッ
腰…
止まんなく
なるじゃん
ずぽぉ
ずぽぉ
ズクッ
ズクッ
ん…っ♡
どうして
くれんの？
はぁ、
はぁ、
はっ♡
ぺちっ
ぺちっ
ぺちっ
ぺちっ
ぱんっ
ぱっ
ビクッ


そんなの…
僕が
受け止めるから
全部
出して…？
はっ
はぐ
んッ…
ちんちん…
揺れちゃう…の…
恥ず…ッ
…かし…ッ
ゴクッ
たんッ
たんッ
ぴゅッ
ぴゅッ
ぺちッ
ぺちッ


へこっ♥
ぬっ♥
ぬっ♥
ずるん♥
ほぉ♥
はっ
はあっ
びくっ
くぽぉ
ばたっ
はっ…あぁ♥
…ッ！
くっ
はぁっ
はぁ
ずぶぶ
ぎゅ♥


すす…
こすこすっ♡
ぴくっ
ふぅっ
ぴくぴくんっ
はっ…
びくっ
びくびくっ
まっしゅ
ふるふる…
おぉぉぉ
ふるっ
えろっ♡
れろっ♡
んっ♡
はっ♡
ちゅっ
はちゅ♡
はちゅ♡


ちょこん
正座


ごめん…！
途中から余裕なくなっちゃって俺…ッ
ヤじゃなかった？痛くなかった？
ズル…
びくっ
ねちっこかった…
ボソ…
うっ…
でも…


ずっと
誰にも
言えなくて
この体質
厄介なだけ
だったのが
今日
司のこと
すごく…
感じられたから
悪くない
かもって…
初めて
思えた…
…ありがとう


伊鈴…
すいっ
えっ…？
ちょ…何…
わたわた
！
ちゅ
3分経過
びくっ
ちゅー
はむ
はむ
喰うな
びくっ
美味ひくてついい…

ここまで読んで頂きありがとうございます！
手が感じる子がいたらえっちだなと思って
描きました。
えっちじゃんって思ってもらえれば幸いです。
お互い好きあってるお互いすけべで幸せな世界が
描けて良かった･･･。

受の伊鈴は、むっつり力(りょく)が高いので
次は目の前でオナニー命令したり
手錠とか目隠しとかしてみたいな～～って
攻の司が言ってました！



※この作品はフィクションであり
実在の人物や団体等とは一切関係ありません
※禁・無断転載/二次配布
Please do not redistribute without my permission.

2022年3月

作：おすしOG

Pixiv
https://www.pixiv.net/users/3699010

twitter
@osushi_OG



インナー＆おぱんつ差分

